



未収金手数料5%撤廃へ向けて 賃金検討委員会を開催!

第三回団体交渉

三月十三日(水)に第三回団体交渉を行いました。

前回までの団体交渉では経営より明確な回答が得られなかったため、全ての要求項目について順次回答を求めました。

「圏央道はこれから延びる 高速道路」

まず始めに『高速道路帰路会社負担』について交渉をしました。

第二回団体交渉時に申し入れた、圏央道、八王子バイパスの利用状況及び会社負担額については「まだ集計中」との回答でした。

しかし圏央道については「圏央道は未完成の高速道路であり、未開通区間が順次開通すれば今後利用する機会が増える事も考えられます。それに圏央道は東西のラインになるので、早急に営業エリアに戻るための利用価値が十分にある高速道路です。そうなるに帰路会社負担も考えないといけない」と、前向きに検討する姿勢を見せましたが、「全線開通するまでにはまだ時間がかかり、新たなインターが開通する度に、帰路利用規程の変更などを随時検討していかなければいけないので、早急には難しい」との回答でした。

「スタッドレスタイヤ四本装着について」

続いて、スタッドレスタイヤ四本装着要求について、前回までの交渉の中で問題になっているタイヤの保管場所について、経営は次の様に述べました。

「建築現場等で使われている足場パイプの様な物で新たなタイヤラックを制作してタイヤを保管するという事を考えて消防署に安全面や消防法等で問題がないか確認を取りました。しかし返答はまだです」との回答でした。

労働組合としては、スタッドレスタイヤ四本装着は公共交通機関としての責任であり冬期はきちんと四本装着出来る体制が整う様に早急に準備する様申し入れました。

「永年勤続表彰・優良乗務員表彰について」

優良乗務員表彰の基準をもう少し厳格に行なう事を討論し、規定に基づき今期は次の基準で表彰する事を確認しました。

- ①総乗務員41勤務(日勤282日)以上
- ②年間營收700万円以上(税抜き)
- ③無事故(無過失を除く)無違反(交通・営業苦情なし)
- ④就業規則の違反なし

以上の四つの基準全てを満たす三十名の乗務員が、四年度の出差会で表彰を行なう事が報告されました。支給額は、今年に限っては3万円を支給する事を確認しました。

また『永年勤続表彰』については、七月までに表彰基準に達した該当者を選出し、規定通り九月に表彰を行なう様に申し入れました。

「賃金要求」「労働者負担撤廃要求」について

経営側は引き続き『賃金検討委員会』での賃金体系組み替え」という姿勢に終始しました。

●車載地図を二〇一三年度最新版にする事

(経営) タクシーセンターの地図は一月と七月の一年に二回、改訂版が発刊されます。最新版を購入したいので七月以降に準備する方向です。

●ナビの更新について

(経営) 現在、日本交通の無線センターの利用している地図データも更新しておらず、配車に関する乗務員からの様々な要望、システムの問題点も多いため、無線システム全体の変更を検討・準備しています。

●二輪車置き場について

現在バイク及び自転車の駐車スペースが不足しており、安全衛生委員会でも経営に申し入れていますが、進展が見られないため再度申し入れました。更に、バイクを駐輪する場所がコンクリで舗装を行なうので、現在ポコポコになっている駐車棟周りの路面補修も、同時に行なう様に申し入れました。

第四回団体交渉

三月二十六日(火)に第四回団体交渉を行いました。

「未収金手数料5%撤廃」へ向けて

今回の交渉では主に今後の『賃金検討委員会』の具体的な方向性について討議をしました。

まずは次回の賃金検討委員会までに、労使で未収金手数料5%撤廃を前提とした『何通りかの賃金モデル』を作り早急に『努力した者が報われる賃金』を検討していく事を労使で確認しました。

賃金体系の変更にあたり経営より次の様な問題点も指摘されました。

(経営) 労働組合の要求している『能率給の足切り金額を四万円』に下げると、最終的に基本給を削る事が必要ではないか?

(執行部) 基本給を削るといふ方向性は考えていません。現状は四万五千円という足切り金額に届かない乗務員が多数おり、最初から能率給の支給を諦めてしまう様な乗務員が出る賃金体系は変えていかなければならない。今は足切りに届かなくても、もう少し頑張れば足切り金額を達成出来る乗務員さんのモチベーションを上げるためにも足切り四万円への減額変更と、残業変動足切りを二千元に減額する事を要求しています。最終的には当日欠勤多発者や全く努力をしない乗務員への対応等、経営の労務管理の仕方が非常に重要になってくるので経営は責任を持って指導・教育を行なって頂きたい。

「スタッドレスタイヤ保管場所」について

(執行部) スタッドレスタイヤの保管場所について、消防署からの回答は来たのでしょうか?

(経営) まだ回答は来ていません。しかし、来シーズンの四輪装着に向けて前向きに検討しています。

「高速帰路料金会社負担」について

(執行部) 圏央道や八王子バイパスは利用する回数自体が少なく、帰路負担しても会社が出す原資は少ないので問題はないはずです。

(経営) 現在、今までのデータを集計しながら前向きに検討しています。今の段階ではまだ回答出来る状況ではありません。

東洋交通の教育体制について

その他、東洋交通の新人乗務員教育について報告があり、四月十五日以降入社した新人乗務員から「SKCにて、UD研修や地理・接客等、日本交通と同等の研修を受講して頂く。他にも班長と協力して新人さんを色々サポート出来る方策を考えています」との報告がありました。

プリウスのシートについて

プリウスのシートカバーのサイズが合わないで、適正サイズのシートカバーを用意する様に経営に申し入れられました。また、プリウスのラゲッジルームは汚れが目立つので、下敷きマットを用意する様に申し入れました。

その後『賃金体系の見直し』を早急に行なう事を確認し、第四回団体交渉は終了となりました。

2013春闘

団体交渉経過報告

「努力した者が報われる賃金」へ!